

採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	琉球大学
拠点のプログラム名称	サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析
中核となる専攻等名	理工学研究科海洋環境学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 土屋誠 教授 外16名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>多様な生物が共存し、かつ地球環境の動態の指標であるサンゴ礁と、陸橋形成とその分断を繰り返すという極めて特徴ある歴史を持つ琉球列島の島嶼を一つのシステムとしてとらえ、サンゴ礁島嶼系における生物多様性の進化過程と動態を、遺伝子レベル、種レベル、生態系レベルで総合的に解析する。英語による国際サマープログラム(講義・野外研修)を開設して若手研究者を育成し、招聘する研究者とともに国際共同研究を推進して研究の発展をはかり、新たな学問領域を創設する。琉球大学が交流協定を締結しているアジア太平洋地域の29大学とは特に密接な連携のもとに共同研究を推進し、この地域における生物多様性研究のネットワークを形成して、将来に引き継がれるプログラムを確立する。また、国際シンポジウムを開催して情報交換の場を設け、研究の発展と教育効果の増幅を目指す。これらの活動を推進しつつ、サンゴ礁島嶼系の生物多様性に関するアジア太平洋地域の国際的研究教育拠点を形成する。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p><コメント></p> <p>琉球列島というサンゴ礁島嶼には多様な生物相が形成されている。それらについて、分子生物学的なミクロの分野から形態・生態学的なマクロの分野までの解析を行い、特異な生物多様性の進化とその維持機構にせまり、東南アジア等の島嶼系生物相研究のモデルを構築するという詳細な研究教育拠点計画であると評価する。</p>	
<p><革新的な学術分野であるポイント></p> <p>島部と周辺海域を不可分のセットとして扱い、生物多様性の進化過程と動態を遺伝子から生態系までのレベルで総合的に解明しようとする点で、革新的な学術分野の開拓を目指すサンゴ礁島嶼系の生物多極性に関する拠点形成計画である。</p>	